

平成の御代も半年弱を残すばかりです。日頃見慣れている本誌は今年で60巻を数えています。昭和34年(1959年)に創刊されて、還暦を迎えているわけです。読者の皆さんにはまだお生まれでない方も多いかも知れません。古希を迎えようとしている筆者は田舎で小学校に通学していました。遠く、懐かしい故里の秋の空、風景が思い出されます。当時は日本経済の高度成長が始まろうとしていました。活気のあった時代かもしれませんが、貧しさもそこかしこにみえたように記憶しています。現在の日本、経済はやや停滞気味で問題が山積しているのかもしれませんが、60年前の小学生の生活感覚からいえば、恵まれた状況にあるように思えます。医学や皮膚科学、学問も診療も日々に進歩しており、その点はおそらく当時もそうであったでしょうが、進歩の性格、スピードなどはだいぶ違っているかもしれません。

今年のノーベル医学・生理学賞に京都の本庶先生が輝かれました。ご承知のように免疫チェックポイント阻害薬(ニボルマブ、抗PD-1抗体)の開発が評価されたとのこと。世界に先駆けて悪性黒色腫に対して承認された薬剤で、その後肺癌など多くの悪性腫瘍に使われています。悪性黒色腫の臨床試験に携わり、また新薬承認申請にあたっては日本皮膚悪性腫瘍学会として厚生労働大臣宛てに要望書を提出したことも記憶に残っています。ノーベル賞の委員会は最近臨床的意義の高い研究を評価する機運にあるようで、臨床で仕事をする多くの人にも励みになるのではないのでしょうか。昨今、日本発の科学、医学関連の論文数や引用数が全体として低下傾向にあり、また若い人の武者修行、海外等への研究渡航も停滞気味と報道されています。将来のノーベル賞、それはさておいても日本の科学や医学研究がさらに活発化するよう、行政の研究活動支援の方向性を含めて議論が高まることを期待しています。

大学を定年退職して5年半、町医者稼業が身につく一方、勉強不足の感は否めません。身近な情報をできるだけ探索、吸収するだけでも継続しなければと自戒する今日この頃です。さていつものことながら本誌読者の皆さまが暮れにかけて、そして来年も活躍されますよう、そして「皮膚科の臨床」が皮膚科診療等に携わる皆さまに役立つ雑誌としてさらに成長、発展するように祈念して長年に亘りました編集後記を擲筆したいと存じます。読者、投稿の皆様に深謝致します。

未覚池塘春草夢
階前梧葉已秋聲

(大塚藤男)

— 顧 問 —

肥田野信 大原國章

— 編集委員 —

大塚藤男 土田哲也 五十嵐敦之 相馬良直 林 伸和

「皮膚科の臨床」第60巻 第12号 11月号

2018年11月1日発行(毎月1回1日発行)

定 価(本体 2,700 円+税)

年間購読料金 定価(本体 42,100 円+税)

[年間13冊(臨時増刊号、増大号を含む)の誌代]

[年間予約購読者に限り送料無料]

発 行 所 金原出版株式会社

発 行 者 福村 直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

TEL 03(3811) 7165 [編集室直通]

TEL 03(3811) 7184 [営業部直通]

FAX 03(3813) 0288

ホームページ <http://www.kanehara-shuppan.co.jp>

振替口座 00130-1-191269

印 刷 所 三報社印刷株式会社 TEL 03(3637)0005

広告申込先 福田商店 TEL 06(6941)5600

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権(送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY**<出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつと事前に、出版者著作権管理機構(TEL: 03-5244-5088, FAX: 03-5244-5089, E-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。